

令和3年9月10日

学校法人 産業教育事業団  
マロニエ医療福祉専門学校  
小山歯科衛生士専門学校  
学校長 伏木 克行 殿

学校関係者評価委員会

## 令和3年度 第1回学校関係者評価報告書

令和3年度第1回学校関係者評価委員会（令和2年度学校評価結果）について、下記の通り報告いたします。

### 記

#### 1. 学校関係者評価委員（外部関係者）

北條 豊（合同会社あゆみの森 デイホームあゆみ 代表社員）  
川村 祐也（医療法人常磐会 緑の屋根診療所）  
須藤 智宏（医療法人心救会 小山富士見台病院）  
渡邊 芳江（公益社団法人 栃木県看護協会 常任理事）  
中里 佳純（大澤歯科医院）  
茂木 明男（MO 後援会 会長）  
日原 芳行（マロニエ同窓会 副会長）

#### 2. 学校関係者評価委員会の開催状況

開催形態 : 書面開催（新型コロナウイルスの感染拡大防止の為）

#### 3. 学校関係者評価委員会結果報告

自己評価結果は全ての項目において「適切」と採決された  
詳細は別紙1、2の通り

以上

## 学校関係者評価委員会結果報告

### (1) 教育理念・目標

#### 【評価項目】

- 1 学校の理念、目的、育成人材像は定められているか  
(専門分野の特性が明確になっているか)
- 2 学校における職業教育の特色は何か  
(理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか)
- 3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- 4 各学科の教育、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか
- 5 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

#### 【委員の判断】 適切

#### 【委員からの意見】

- ・多職種連携授業（IPE）での学びは職業人になってから必ず活かされる学びである。教育理念と結びついて取り組まれていることは評価できる。
- ・社会のニーズに応える上で、全体でのビジョン発表会は有効だと思います。是非続けていただけたらと思います。

### (2) 学校運営

#### 【評価項目】

- 1 目標等に沿った運営方針が策定されているか
- 2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 4 人事、給与に関する規定等は整備されているか
- 5 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか
- 6 業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか
- 7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- 8 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか

#### 【委員の判断】 適切

#### 【委員からの意見】

- ・学校運営方針に基づき、各学科で運営計画が作成されて事業が展開されているため

一貫性が期待できる。

- ・デジタルコンテンツにより、学生が授業を振り返る等学ぶ機会を多く得られるようになるのはありがたいと思います。
- ・ホームページを見ましたが、動画で分かりやすく、また文字だけでなく写真を上手に利用しとても見やすいと思います。

### (3) 教育活動

#### 【評価項目】

- 1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか
- 2 学科の修業年限に応じた、教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- 4 キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発などが実施されているか
- 5 関連分野の企業、関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が行われているか
- 6 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか
- 7 授業評価の実施、評価体制はあるか
- 8 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 9 成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか
- 10 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- 11 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- 12 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務、兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか
- 13 関連分野における先端的な知識、技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか
- 14 職員の能力開発のための研修等が行われているか

#### 【委員の判断】 適切

#### 【委員からの意見】

- ・看護学科以外の助産学科や通信課程では授業評価を充実させる必要があると思います。客観的な評価を期待します。
- ・全体的に昨年の評価と比較し、外部と関わりがある部分に関しては低くなってしまっているが、それ以外の部分は改善されている点が多くみられた。

教材研究、カリキュラムの共通理解が図られていると感じた。看護学科について、通信課程含めその点の評価が下がってしまっている。「改善方策、今後の活動の展望（昨年）」が今回反映されていたと資料から読み取れるが、「施設アンケート」にての評価も低くなってしまっている印象。

IPEに向いている学校であるので、他科とどの程度交流があるのか気になった。

- ・ 昨年に引き続き、コロナ禍において状況に応じた授業を行うなかで、各学科でより良い教育を行うための工夫を感じることが出来る。  
学生や実習地からのフィードバックを受け、これからも社会に求められる人材の育成が出来ると思う。
- ・ 授業アンケートはとても良いと思います。具体的な目標に対して、授業にどのようなことを求めるか聴取ができると学生の授業の不安や悩みも把握できると思います。
- ・ 学生へのアンケートだけでなく各実習所へ実習後アンケートを実施することで、実習所とコミュニケーションをとることができ、今後の課題など見つかると思う。

#### (4) 学修成果

##### 【評価項目】

- 1 就職率の向上が図られているか
- 2 資格取得率の向上が図られているか
- 3 退学率の低減が図られているか
- 4 卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

##### 【委員の判断】 適切

##### 【委員からの意見】

- ・ 看護学科において国試合格率が低下した点は残念です。多様化・複雑化する医療の現場ではアセスメント力や判断する力が求められているため、国試対策に力を入れていただきたいです。
- ・ コロナの影響なのか、外部がからむ部分に関しては低くなっている点は仕方ないと感じるが、介護の資格取得率、作業の退学率の低減など成果がみられている点は良いと感じた。  
看護は資格取得率の評価が下がった点で、合格率の低下と分析なされているが、試験の難易度については例年どおりなのか気になった。
- ・ “資格取得率＝学修成果（結果）” だと思います。各学科評価4には中々行くのは大変かと思います。学生の基礎学力の低下が大きな要因かと思いますが、私の経験からするとモチベーションの維持がとても重要になると思っています。先生からの声掛けも大切ですが、学生同士の学びあいなどお互いがささえ合える関係が学修成果になる

と思います。

- ・資格取得率向上を図るのであれば、国家試験前のテストを行い、基準に達しない学生に対して受験させないことも考えの一つかと思います。危機感を持たせるために。
- ・国家試験へ向けて個別で教えてくれ分かりやすいと学生が言っているのを聞きました。コロナ禍でもありますので少人数でのグループワークを増やし、資格取得へ向け頑張ってもらいたいと思う。

## (5) 学生支援

### 【評価項目】

- 1 進路、就職に関する支援体制は整備されているか
- 2 学生相談に関する体制は整備されているか
- 3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 5 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 6 学生の生活環境への支援は行われているか
- 7 保護者と適切に連携しているか
- 8 卒業生への支援体制はあるか
- 9 社会人ニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 10 高校、高等専修学校等との連携によるキャリア教育、職業教育の取組が行われているか

### 【委員の判断】 適切

### 【委員からの意見】

- ・複雑な社会情勢の中でメンタルケアは重要です。心理カウンセラー等にいつでも相談できるような支援を期待します。
- ・コロナ禍により、より経済的問題をかかえる学生が増えると思います。現在も十分な対応がされていると思いますが、引き続き各制度を利用し、学生の心理面も併せてサポートしてください。
- ・卒後3年間の離職数を知ることは大切ではないか。就職先との連携を取れば可能ではないか。
- ・いつでも相談できる体制になっていることで退学者が得ることに繋がると思います。またコロナ禍で精神的ストレスを感じる学生も多いと思うので、相談しやすい環境をこれからも作ってほしいと思う。

## (6) 教育環境

### 【評価項目】

- 1 施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 3 防災に対する体制は整備されているか
- 4 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか

### 【委員の判断】 適切

### 【委員からの意見】

- ・危機管理マニュアル等が徐々に整備されてきたことは評価する。
- ・安全管理の部分で前年度まで整備されていなかったものを形にしたことは、評価できると感じた。
- ・社会のニーズに応じて、できることを十分に行っていると思います。(デジタルコンテンツやオンライン授業等)
- ・実習中訪問があり、先生に学校での様子など学生の事を細かく聞け実習指導者としても学生へ指導しやすい環境にあります。

## (7) 学生の受入れ募集

### 【評価項目】

- 1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか
- 2 学生募集活動は、適切かつ効果的に行われているか
- 3 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 4 学納金は妥当なものとなっているか
- 5 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか
- 6 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか

### 【委員の判断】 適切

### 【委員からの意見】

- ・学生受入れ募集活動では、タイムリーに情報提供されることが大切かと思います。オープンキャンパス等も自粛されるコロナ禍で適切に情報が提供されることは評価できる。
- ・高校の訪問や SNS の活用など積極的な学生の受け入れの活動を行っていると思います。
- ・SNS にてマロニエの情報を見る機会が増えたように思います。工夫された動画も見る機会があり楽しませてもらっています。

SNS上で在校生の楽しそうな写真や動画を見ると、学校に対する良いイメージがもてると思いますし、授業のイメージもつきやすく、オープンキャンパス参加増につながっているのではないのでしょうか。

- ・フェイスブック、ツイッターは常に情報を得たい人向けなのでなかなかフォロワー数を伸ばすのは難しいのではないのでしょうか。
- ・学生募集活動に関して、このコロナ禍の中でがんばられていると思います。ご苦労様です。
- ・インスタグラムを見ました。作業療法学科のみのインスタがあり、動画でオープンキャンパスを宣伝したり授業内容などもあり、しっかり情報発信できていると思った。他の学科もインスタをつくり情報発信したらどうでしょうか。

## (8) 財務

### 【評価項目】

- 1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 2 予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 3 財務について会計監査が適正に行われているか
- 4 財務情報公開の体制整備はできているか

### 【委員の判断】 適切

### 【委員からの意見】

特になし

## (9) 法令等の遵守

### 【評価項目】

- 1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- 3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 4 自己評価結果を公開しているか

### 【委員の判断】 適切

### 【委員からの意見】

- ・自己評価を実施されている点は評価できる。教職員にフィードバックされることを期待します。

(10) 社会貢献・地域貢献

**【評価項目】**

- 1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか
- 2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 3 地域に対する公開講座、教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか

**【委員の判断】** 適切

**【委員からの意見】**

特になし

## 質疑・回答・補足

### 1. 多職種連携教育（IPE）について

#### 【委員からの意見（一部再掲、以下同様）】

- ・多職種連携授業（IPE）での学びは職業人になってから必ず活かされる学びである。教育理念と結びついて取り組まれていることは評価できる。
- ・IPEに向いている学校であるので、他科とどの程度交流があるのか気になった。

#### 【回答・補足】

IPE 活動は、今年度 4 年目を迎えた。今年度は学校全体を巻き込み、学生・教職員と IPE を実践することの価値を共有できるよう、教職員向けの学習会やファシリテータ養成講習、学生への実施後のアンケートを行い、評価修正をしながらより質の高い活動へと発展させることを目指している。直近では 7 月に 4 学科合同で中間期演習を実施した。

### 2. 授業評価、アンケートについて

#### 【委員からの意見】

- ・看護学科以外の助産学科や通信課程では授業評価を充実させる必要があると思います。客観的な評価を期待します。
- ・授業アンケートはとても良いと思います。具体的な目標に対して、授業にどのようなことを求めるか聴取ができると学生の授業の不安や悩みも把握できると思います。

#### 【回答・補足】

助産学科では学科独自の授業評価を行い、適時に学生の理解度や内容を把握し、フィードバックしている。

共通のアンケートを実施していない理由は、助産学科が 1 年の課程であり、より専門的な内容が多く、ひとコマごとの独立性が高いため、科目終了時の授業アンケートではペース的に間に合わないことが主因である。

方法として、コマごとのリフレクションシートを作成し、学習目標に沿って、10 段階評価と自由記載による学生の理解度を確認している。その結果から、理解度が低かった項目や、学生が記載した意見や質問に対して次のコマで回答する仕組みを作り、学生の目線に立ち、タイムリーに学生の理解を促進する取り組みを実践している。

今後は学校全体で行っている授業アンケートとの組み合わせも検討する。

看護学科通信課程では、1 科目につき対面授業は 2 回のみ実施のため、現在授業に関する評価アンケートは実施していないが、実習については実施後にアンケート（数値

評価+自由意見)を取っている。

### 3. 看護系学科の新カリキュラムについて

#### 【委員からの意見】

- ・教材研究、カリキュラムの共通理解が図られていると感じた。看護学科について、通信課程含めその点の評価が下がってしまっている。「改善方策、今後の活動の展望(昨年)」が今回反映されていたと資料から読み取れるが、「施設アンケート」にての評価も低くなってしまっている印象。

#### 【回答・補足】

現在の若者の特徴として、社会人基礎力の低下があげられる。友人との同調的なコミュニケーションを取ることはできる。しかし、実習場での患者やスタッフとの目的意識をもったコミュニケーションは十分培われていない。

看護技術に関しては、実習前に練習をして臨んでいるが、放課後等や長期休業に時間の確保が難しいため、習熟できていない。

新カリキュラムにおいては、社会人基礎力を現行より強化したいと考え、教育目標、科目構成、教育内容の精選を行っている。特に人間関係論やカウンセリング論にコミュニケーションの目的、スキルなどを充実していく予定である。

看護技術も科目と時間を増やし、また、練習環境として物品を充実、長期休業等での練習時間をさらに設け技術の習熟に努める予定である。

### 4. 国試合格率(資格取得率)向上の改善策について

#### 【委員からの意見】

- ・看護学科において国試合格率が低下した点は残念です。多様化・複雑化する医療の現場ではアセスメント力や判断する力が求められているため、国試対策に力を入れていただきたいです。
- ・看護は資格取得率の評価が下がった点で、合格率の低下と分析なされているが、試験の難易度については例年どおりなのか気になった。
- ・“資格取得率=学修成果(結果)”だと思います。各学科評価4には中々行くのは大変かだと思います。学生の基礎学力の低下が大きな要因かと思いますが、私の経験からするとモチベーションの維持がとても重要になると思っています。先生からの声掛けも大切ですが、学生同士の学びあいなどお互いがささえ合える関係が学修成果になると思います。
- ・資格取得率向上に対する具体的改善点

### 【回答・補足】

- ・ 難易度については、全国の合格率が例年と変わらないので同じと判断している。
- ・ 令和2年度の国家試験取得状況は、9学科（通信含む）のうち全国平均を超えたのは4学科であった。主な要因としては受験者の中に多くの留年生が含まれていることが挙げられる。留年を経験している学生は合格率が低く、そして、その留年生に対するフォローが不十分であったことが考えられる。留年生に見られる傾向としては、学力が低く、かつ、学習に対する意欲が低い。したがって、この学生をしっかりとフォローしていくことが大きなポイントとなる。

そこで、今年度は、各学科が共通で抱えている上記学生の対応について、各学科の国家試験対策業務を中心に担っている教員からなる国家試験対策委員会を発足し、特に意欲向上を中心とした方法を検討している。

## 5. 就職について

### 【委員からの意見】

- ・ 卒後3年間の離職数を知ることは大切ではないか。就職先との連携を取れば可能ではないか。

### 【回答・補足】

卒業後アンケートを不定期だが実施している。

本校では、医療・福祉の現場において、より即戦力のある人材育成を目指しており、卒業生が現場において必要な知識・技術を身に付けられているかを確認するとともに、卒業生と就職先のミスマッチ等による離職を防ぐために、卒業生と就職先にアンケートを実施して、教育現場の改善につなげている。

また、年に2回、主だった就職先を訪問して連携をとっており、離職者の把握にも努めている。

なお、離職数（率）の調査については現在検討中である。

## 6. SNSの活用状況について

### 【委員からの意見】

- ・ 高校の訪問やSNSの活用など積極的な学生の受け入れの活動を行っていると思います。
- ・ SNSにてマロニエの情報を見る機会が増えたように思います。工夫された動画も見ることがあり楽しませてもらっています。

SNS上で在校生の楽しそうな写真や動画を見ると、学校に対する良いイメージがもてると思いますし、授業のイメージもつきやすく、オープンキャンパス参加増につながっているのではないのでしょうか。

- ・フェイスブック、ツイッターは常に情報を得たい人向けなのでなかなかフォロワー数を伸ばすのは難しいのではないのでしょうか。

**【回答・補足】**

現在 Instagram・Twitter・Facebook を展開している。

高校生は Instagram をよく見ているため、フォロワー数も少しずつ増えている。

Facebook に関しては、社会人向けに開設した。

今年は Instagram の投稿に動画を取り入れる、写真付きの教員紹介を投稿する等工夫しながら運用している。

## 7. 近年の出願状況について

**【委員からの意見】**

- ・福祉分野の希望者が年々減っている印象です。貴校において定員に対しどの程度募集があるのか、各科の現状を教えてください。

**【回答・補足】**

令和3年度の各学科定員充足率は以下の通り。

介護福祉学科：38%

看護学科：92%

助産学科：80%

看護学科通信課程：55%

理学療法学科：94%

作業療法学科：65%

歯科衛生学科：84%

歯科衛生学科（夜間部）：41%

## 8. 入学選考基準について

**【委員からの意見】**

- ・入学選考基準の内容とは。

**【回答・補足】**

入試選考については特にアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）を重視した基準となっている。【書類選考】【小論文】【面接】を軸として、一般試験については【国語（現代文）】が追加される。